ステーション型温調はんだこて RX-701AS, RX-711AS

取扱説明書

この度は goot ステーション型温調はんだこてをお買いあげいただきましてありがとうございます。この製品をご使用になる前に本取扱説明書を必ずお読み下さい。

備考 本書は RX-701AS, RX-711AS の共用の取扱説明書となります。本文中にそれぞれの型番が記述されております。お買い上げいただいた機種に関係する箇所をお読みください。

太洋電機産業株式会社 東京 03 (3832) 1774 新潟 0256 (35) 5379 大阪 06 (6644) 3508 広島 084 (951) 9010
お客様相談窓口 www.goot.co.jp E-mail: info@goot.co.jp

この説明書はなくさないように大切に保管してください。

1. 警告・注意について

この説明書では注意事項を次のように区分しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または物的損害に結び付くもの。
! 備考	アドバイスおよび、諸注意が記載されています。

2. 安全のために

1. 危険な環境下でご使用にならないでください。湿った場所 (屋外も含む)、燃えやすい物の近くでのご使用は絶対にさけてください。
2. 本器に子供、傍観者を近づけないでください。
3. 使用を中断する時は電源を切ってください。
4. 本器は電子部品のはんだ付けをするための電気工具です。本器をこの目的以外にご使用にならないでください。
5. 作業に適した服装と安全メガネを着用してください。
6. 電源は交流 100V 50 ／ 60Hz に接続してください。
7. 電源コードに傷、損傷がある場合はすぐに使用を中止し、電源を切ってください。また、交換のため販売店またはお客様相談窓口まで連絡してください。
8. こて台は本器付属の ST-27 をお勧めします。ST-27 以外のこて台では本器のこて部を溶かす場合があります。
9. 本器を感電防止及び静電対策のために、電源プラグのアースピンを必ずアース接地してください。

3. 仕様

型番		RX-701AS	RX-711AS
定格電圧		100V AC 50/60Hz	
消費電力		65W	
こて部電圧		24V 60W	
使用温度範囲		200–450°C	200–480°C
絶縁抵抗(500V DC)		100MΩ以上	
サイズ	こて部	全長197mm(コードアーマー除く)	
	本体	146(L) × 115(W)×98(H)mm	
重量	こて部	44g(コード除く)	
	本体	1.5kg(コード除く)	
こて部ステーション間コード長		1.2m	
電源コード長		1.2m（3芯コード･アースピンプラグ）	
リーク電圧		2mV以下	
アース抵抗		2Ω以下	
付属品		こて台ST-27、標準こて先 RX-60RT-B	

4. 梱包内容／各部の名称

■制御部

■こて部

グリップカバー
アダプター
ナット
コネクター
ヒーターパイプ
こて先

■付属はんだこて台 ST-27

クリーナー
スポンジ

Printed in Japan, DECEMBER 2012 A0810AL03

5. 使用方法

警告 火災防止のため、作業場の中にある燃えやすい物から本器を離してください。重大な事故につながる恐れがあります。

1. 換気のよい場所の平らな作業台に本器制御部とこて台を置いてください。
2. こて部のプラグ差込向きに注意して、制御部前面コネクタにしっかり挿入してください。
3. こて部をこて台にしっかりと挿入してください。
4. 制御部の電源スイッチが OFF（○マーク側）であることを確認して、電源プラグを差し込んでください。
5. コンセントはアース接地された 3 ピンプラグ用を使用してください。3 ピン用のコンセントがない場合は、当社 3 ピン 2 ピン変換プラグ P-10 をご使用ください。尚、アースは必ず接地してください。
6. 温度設定のために、保護カバー左下のねじをプラスドライバーで緩めて保護カバーを開けてください。

A. RX-701AS のみの操作方法

1. 温度設定ツマミを希望する温度目盛りにあわせください。
2. 電源スイッチを ON（ I 側）にしてください。ヒーター通電ランプが点灯し、ヒーターが加熱しはじめます。設定温度に到達すると、ヒーター通電ランプが点滅し、使用可能となります。

300 350 250 400 200 450

備考 設定温度によっては温度が完全に安定するまでに時間がかかる場合があります。電源投入後、約 2 分で設定温度に安定しますので、より確実な温度管理を望まれる場合、2 分後からのご使用をお奨めします。

B. RX-711AS のみの操作方法

MEAS. SET

1. フロントパネル左側の温度表示切替スイッチを SET 側にしてください。これにより温度表示は設定温度を表示します。
2. 電調スイッチを ON (I 側) にしてください。ヒーター通電ランプが点灯し、ヒーターが加熱しはじめます。この時、温度表示は、約 10 秒間 “999" 表示をおこなった後、設定温度表示に戻ります。
3. 温度設定ツマミを回して、表示温度を希望の温度に設定してください。
4. 温度表示切替スイッチを MEAS. 側にしてください。これにより温度表示は実際のこて先温度を表示します。ヒーターが設定温度に到達するとヒーター通電ランプは点滅となります。但し、一度電源スイッチを OFF とし、1 時間以内に再度 ON にした場合、“999" 表示はおこなわず表示は “000" 表示に近づき、そこから通常表示の温度表示を行います。

999

MEAS.

SET

⚠ 注意 温度設定ツマミを MAX に近づけると、表示温度 / こて先温度の差が 480℃を越えて 510℃付近まで設定可能となる場合がありますが、500℃以上でのご使用は、本器が破損しますので絶対におやめください。

! 備考 SET と MEAS. の温度表示で約 2℃程度の差が発生する場合がありますが、この場合、MEAS. 温度表示での温度設定ツマミによるこて先温度補正は不要です。出荷時のこて先温度校正は SET 側の表示温度で行っています。

! 備考 温度表示を MEAS. にした場合、温度表示に約 2 ～ 3℃の巾で変動が見られます。

! 備考 温度表示を MEAS. にして作業を行った場合、こて先に約 10 秒間の熱負荷を与えないと、温度表示は変化しません。
例）設定温度 480℃でこて先を濡れたスポンジに当て続けた場合、約 10 秒間は 480℃表示のままで約 10 秒後から表示温度が下がっていきます。但し温度制御回路は、表示が下がらない間も設定温度に戻すための制御を行っています。

! 備考 設定温度によっては温度が完全に安定するまでに時間がかかる場合があります。電源投入後、約 2 分で設定温度に安定しますので、より確実な温度管理を望まれる場合、2 分後からのご使用をお奨めします。

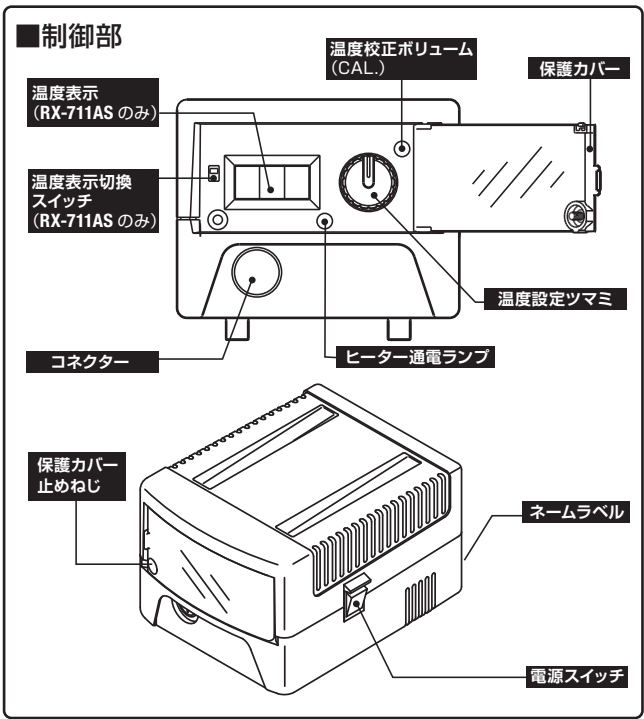
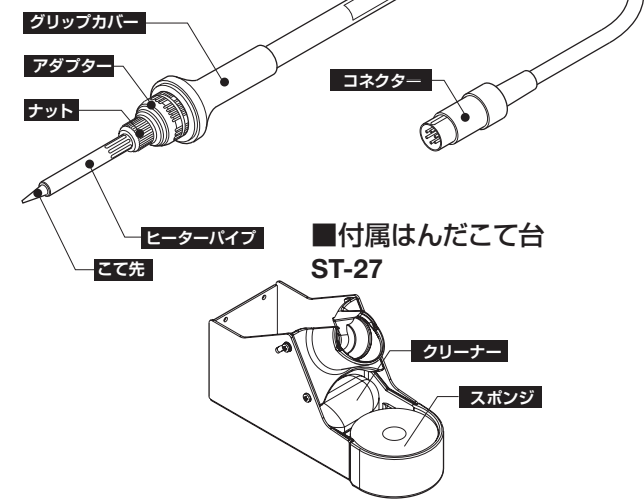
5. 温度設定後は保護カバーを閉めて保護カバー左下のねじをプラスドライバーで締め付けて使用してください。
6. 作業中、定期的にこて先についたはんだカスをこて台のクリーナー、湿らせたスポンジで取り除いてください。

⚠ 警告 焼け焦げるニオイ、ヒーターの異常加熱、プラスチック部品の変形が発生したときは、直ちにプラグを抜いてください。その後はご使用にならないで、販売店またはお客様相談窓口まで返送ください。もし、ご使用を続けられますと、火災、やけど等の事故や本器の破損害が発生する可能性があります。

⚠ 警告 こて先、ヒーターパイプ、ナット、アタプタは高温になっていますので、絶対に触れないでください。やけどをします。

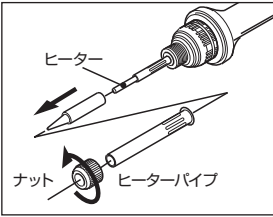
⚠ 注意 こて先やヒーターは衝撃で破損しますので、叩きつけたり、落としたりしないでください。鉛フリーはんだを使用すると、こて先の寿命が鉛入りのはんだと比べて短くなるととがあります。

6. メンテナンス

警告 こて先、ヒーターパイプ、ナット、ヒーター等の交換作業は必ず電源スイッチを OFF にして電源プラグを抜き、こて先が冷えたのを確認してから行ってください。そうしないと､感電、やけど等の重大な事故をおこします。

⚠ 注意 メンテナンスされるときは goot 純正部品をご使用ください。他の部品をお使いになると本器が故障する可能性があり危険です。

6-1 こて先の交換

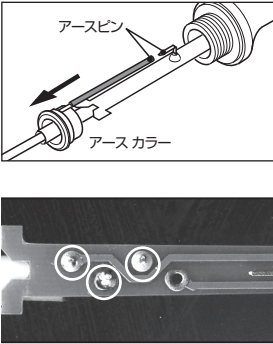
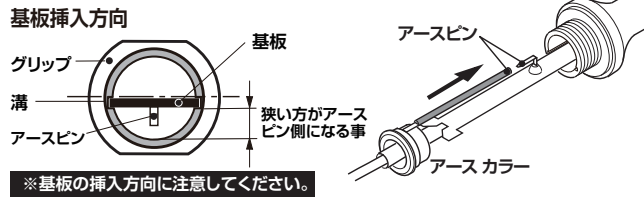
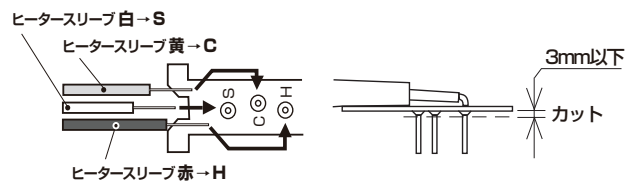
以下の手順に従って作業してください。

1. こて部のナットを時計と反対方向に回して取り外します。
2. ヒーターパイプを抜き、こて先をヒーターから抜き取って下さい。
3. 新しいこて先をヒーターに装着した後、逆の手順で組み立てます。

備考 焼き付き防止のため、こて先は時々ヒーターから引き抜いて内部の酸化物を取り除いてください。

6-2 ヒーターの交換 (はんだこて、ニッパーをご用意下さい)

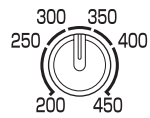
以下の手順に従って作業してください。

1. こて部のナットを時計と反対方向に回して取り外します。
2. ヒーターパイプを抜き、こて先とスペーサーをヒーターから抜き取って下さい。
3. アダプタを時計と反対方向に回して取り外します。
4. ヒーターをこて部から引っ張り出し、アースカラーをコネクタから抜き取ります。
5. 基板にはんだ付けされたヒーターの、3 箇所のはんだ付け部を取り外します。

アースピン
アース カラー

6. 新しいヒーターをはんだ付けし、余ったヒーターリード線を基板から 3mm 以下で切り取ります。
7. 逆の手順で組み立てます。

6-3. 温度校正の方法（こて先温度計が必要です）

以下の手順に従って作業してください。

A. RX-701AS の温度校正方法

1. 温度設定ツマミで校正を希望する温度目盛りに あわせます。
2. こて先温度計でこて先温度を計りながら、その 測定値が希望する温度目盛りに合うように、温 度校正ボリューム（**CAL.**）をマイナスドライバで 慎重に回してください。右に回すとこて先温度 が上がり、左に回すとこて先温度が下がります。

B. RX-711AS の温度校正方

1. 温度表示切替スイッチを **SET** 側にします。
2. 温度設定ツマミで表示温度を、希望する校正 温度に合わせます。
3. こて先温度計でこて先温度を測りながら 、そ の測定値が表示温度と同じになるように、温度 校正ボリューム（**CAL.**）をマイナスドライバーで 慎重に回してください。右に回すとこて先温度が 上がり、左に回すと表示温度が下がります。

備 考 本器は 350℃で校正して出荷しています。実際のこて先温 度と表示温度の差は 200℃、450℃（RX-701AS のみ）、 480℃(RX-711AS のみ）の表示箇所で ±10℃です。但し、 こて先温度計により差がありますのでご注意ください。

備 考 本器及び作業対象物の損傷を防ぐために、こて部または ヒーターを交換された際は必ず、こて先温度校正を行って ください。こて先温度計が無く、温度校正が行えない場合 は、販売店もしくはお客様相談窓口までご相談下さい

6-4 プラスチック部品のお手入れ

プラスチック部分にガソリン、石油ベース、浸透性のオイルをつけない でください。機器に損傷を与えたり、弱めたり、壊れたりします。汚れを 取り除く場合はきれいな布を使用してください。

7. 故障の時に

トラブルが起こったときは下記の手順でチェックしてください。

1. 電源コードに損傷が無いことを確認してください。もし、損傷がありました ら本器をご使用にならないで販売店またはお客様相談窓口に修理を依頼 してください。
2. 上記 1. で問題がなければ、以下のチェックリストに従ってトラブルの原因を 見つけ、対処してください。

症　状	原　因	対 処 法
電源が入らない	電源コードが外れている。	接続してください。
	電源スイッチが OFF(○マーク側）になっている。	電源スイッチを ON（I マーク側）にしてください。
	電源コードが断線している。	販売店またはお客様相談窓口に連絡してください。
	ヒューズが切れている	販売店または相談窓口に連絡してください。
加熱しない	制御部前面のコネクタが外れている。	接続してください。
	ヒーターが故障している。	ヒーターを交換する。（ヒーター交換の項目を参照）
	こて部のコードが断線している。	こて部を交換する。
上記にあてはまらない場合	プリント基板が故障している可能性がありますので、販売店またはお客様相談窓口に連絡してください。	

3. プラスチック部分の変形、焦げる臭いがするときは直ちにプラグを抜き販 売店またはお客様相談窓口に修理を依頼してください。
4. 本器を落下させた場合、必ず上記についてチェックしてください。もし、問 題が見つかりましたら、使用にならないで販売店またはお客様相談窓口に 修理を依頼してください。

8. 交換部品

- RX-701AS/711AS 用替ヒーター ・・・・・・・・・・・・・・ RX-72H
- RX-701AS/711AS 用ヒーターパイプ ・・・・・・・・・ RX-72HP
- RX-701AS/711AS 用ナット ・・・・・・・・・・・・・・・・・ TQ-77NUT
- RX-701AS/711AS 用スペーサー ・・・・・・・・・・・・・・ RX-72SS
- 3 芯－ 2 芯変換プラグ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P-10
- RX-701AS/711AS こて部ユニット ・・・・・・・・ RX-72GAS

セラミックヒータータイプ 専用こて台

ST-27 取扱説明書

警　告

●やけどに十分注意しながら使用して下さい。●ご使用中、こて 台の金属部分は高温になりますので触れないで下さい。●燃え やすい物の近くで作業しないで下さい。

注　意

●作業時および保管時は落下によるケガなどの事故を防ぐため、 安定した作業台もしくは保管場所を選んで下さい。●金属クリー ナーでこて先をぬぐう動作を行うと、はんだやこて先の付着物が 飛散しますのでご注意ください。●収納はこて台が十分に冷えた ことを確認してから行ってください。

ご使用方法

ご使用前に耐熱スポンジに水を含ませて下さい。

はんだ付け作業中にこて先が汚れた場合、耐熱スポンジにこて先をこすりつけ て汚れを取り除いて下さい。スポンジの穴でこて先をクリーニングするとはん だカスがきれいに落ちます。

金属クリーナーはこて先を突き刺すようにしてご使用ください。ぬぐう動作を 行うと、はんだやこて先の付着物が飛散し大変危険です。

●金属クリーナーに水を加えないで下さい。さびの原因になりま す。●スポンジ受皿とこて受口は熱したこて先を長時間当てると 損傷しますのでご注意ください。●こて台の底にはんだかすがた まりますので定期的に除去してご使用ください。

交換部品

- 耐熱スポンジ /ST-53SP
- こて受口（調節ねじ付）/ST-27MS
- 金属クリーナー（2 個入）/ST-40BW

仕　　　様

サ　イ　ズ	72(W)×106(H)×178(D)mm
重　　　量	485g

9. 交換こて先

***PX-61RT** シリーズは高熱伝導型です。

***PX-61RT** シリーズは **10** 本単位での販売となります。

PX-60RT-SB / *PX-61RT-SB　PX-60RT-B / *PX-61RT-B　PX-60RT-LB / *PX-61RT-LB

PX-60RT-1C / *PX-61RT-1C　PX-60RT-1.5C / *PX-61RT-1.5C　PX-60RT-2C /*PX-61RT-2C

PX-60RT-3C / *PX-61RT-3C　PX-60RT-4C / *PX-61RT-4C　PX-60RT-0.5CR/*PX-61RT-0.5CR

PX-60RT-0.8CR / *PX-61RT-0.8CR　PX-60RT-1CR / *PX-61RT-1CR　PX-60RT-2CR / *PX-61RT-2CR

PX-60RT-3CR / *PX-61RT-3CR　PX-60RT-4CR / *PX-61RT-4CR　PX-60RT-0.8D / *PX-61RT-0.8D

PX-60RT-1.2D / *PX-61RT-1.2D　PX-60RT-1.2LD / *PX-61RT-1.2LD　PX-60RT-1.6D / *PX-61RT-1.6D

PX-60RT-2.4D / *PX-61RT-2.4D　PX-60RT-3.2D / *PX-61RT-3.2D　PX-60RT-1.8H / *PX-61RT-1.8H

PX-60RT-H / *PX-61RT-H　PX-60RT-3K / *PX-61RT-3K　PX-60RT-5K / *PX-61RT-5K

PX-60RT-R / *PX-61RT-R　PX-60RT-RT / *PX-61RT-RT　PX-60RT-S4 / *PX-61RT-S4

PX-60RT-SB2 / *PX-61RT-SB2　PX-60RT-SI / *PX-61RT-SI

10. 部品リスト

RX-711AS　RX-701AS　ST-27

NO.	部品名	型番	備考
①	保護カバーAssy	A0810DX00	
②	こて部	A0883AF00	RX-72GAS
③	ヒーター	B0882AH00	RX-72H
④	アダプタ	A0880HW00	RX-72GASAD
⑤	こて先	B0672AB00	PX-60RT-B
⑥	スペーサー	A0880HS00	RX-72SS
⑦	ヒーターパイプ	A0880HP00	RX-72HP
⑧	ナット	B1362AJ00	TQ-77NUT
⑨	替スポンジ	A6860BF00	ST-53SP
⑩	替クリーナー	B6742SW00	ST-40BW